

第三次中期3ヶ年計画(平成29～31年度)

基本理念:「私は仲間のために 仲間が私のために」

そして、誇りある集団に。

上記の理念を受け、平成29年度から31年度までの3ヶ年の基本方針を『Mission－Vision－Action』と定め、今後、単年度の計画へと具体化していく。

Mission 使命: 私たちに期待されること

Vision 展望: 私たちが目指すもの

Action 行動: 私たちが今、すべきこと

株式会社 中部評価センター

平成30年度事業計画

1. 事業活動

第三者評価事業に関しては、愛知県の事業所を主たる顧客ととらえ、新たな市場として長野県南部の事業所にも営業展開していきます。

年度の目標を91件とし、その内訳は保育所25件、障害者施設55件、高齢者施設10件、社会的養護施設1件とします。

既存顧客のリピート率を高めるとともに、新規顧客の開拓を最重点に行っていきます。

売上目標: 16, 520千円

外部評価事業に関しては、既に30年度の意向調査(事業所が評価機関を指定する)が終了しており、196件の受注が確定しております。

平成29年度実績(207件)には及びませんが、きめ細かな対応によって今後の顧客拡大を

目指します。

売上目標:13,080千円

情報公表事業は、今年度より愛知県と名古屋市との2極構造での実施となります。

愛知県の「割当て方式」と名古屋市の「入札方式」との制度運用に違いがあり、現時点での受注予定数の把握は極めて難しい状況でございます。

前年度比20%減の120件を当面の目標とします。

売上目標:2,450千円

派遣審査事業は、年間10件(前年比37.5%減)の受注を目指します。

今年度に更新時期を迎える5事業者を確実に受注し、加えて新規受注5件を目指します。

売上目標:3,700千円

職業紹介審査事業は、更新審査の該当事業者が4件ですが、これまでの経緯から更新を希望されない事業者が出てくる可能性があります。

前年度の反省を活かし、早めの対応によって更新審査の受注を確実にしていきます。

控えめな数字ではありますが、年間4件の受注を目指します。

売上目標:1,500千円

その他公的評価事業は、豊田市の指導委託事業が始まりますので、積極的な受注活動を展開し、前年度比25%増の併せて80件の受注を目指します。

売上目標:2,600千円

以上の結果、平成30年度の売り上げ目標は39,850千円となります。

2. 評価員等の能力開発

評価の質を問う場合に、評価調査者の資質を無視することはできません。

その観点から、前期に引き続いて評価員等を3つの部門(保育部門、障害・審査部門、高齢部門)に分け、それぞれの部門ごとに専門性に着目した研修を実施していきます。

基本的には、それぞれの部門に対して毎月1回の研修日を設定し、専門性を有する3名の担当取締役が研修計画を策定し、それに沿った研修を実施していきます。

研修会により多くの評価員等の参加を募るため、各人の勤務時間に配慮して研修の開催時間帯を午後7時から2時間程度とし、タイムリーな研修内容を用意していきます。

また、機関合同研修として年間3回(8月、12月、5月)の基本的な研修を実施する予定です。

3. 経費の削減

引き続き経費の圧縮に努めます。

ただし、評価員等の能力開発や社員相互の懇親を図る取り組みには、先行投資の意味合いもあって相応の経費の支出を認めていきます。

支出の合計は、前年比2.6%増の39,950千円を予算化しております。

4. 資本金の増加

5月27日開催の臨時株主総会での決議通り、平成30年7月10日をもって資本金が1,200万円に増加しました。(200万円の増資)

自己資本比率を高め、財務体質の強化を図ることを目的とした施策です。

以上